

交換用バッテリーパック

BLB50T/BLB75T/BLB100T 取扱説明書

本製品は BL50T/BL75T/BL100T の交換用バッテリーパックです。

目次



安全上のご注意.....	1
付属品の確認.....	4
バッテリーの交換.....	4

安全上のご注意



安全上のご注意



安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

- 本取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

 : 禁止 (してはいけないこと) を示します。たとえば  は接触禁止を意味しています。

 : 強制 (必ずしなければいけないこと) を示します。たとえば  はアース接続 (接地) が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険

バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの危険があります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 落下するとけがをすることがあります。



本体には、リチウムイオンバッテリーを使用しています。

- UPS やバッテリーを廃棄する際は、リチウムイオンバッテリー廃棄業者へ依頼するかオムロン電子機器カスタマサポートセンターへお問い合わせください。通常の産業廃棄物として廃棄しないようにしてください。発火の恐れがあり非常に危険です。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センターへご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、オムロン電子機器リプレイスサービスセンターまでご送付ください。



Li-ion 22



⚠ 注意

交換作業は安定した平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、バッテリーパックからの液漏れによる失明や、やけどなどの恐れがあります。



指定以外の交換用バッテリーパックは使用しないこと。

- 交換用バッテリーパックの商品型式
 - ・ BL50T 用：BLB50T
 - ・ BL75T 用：BLB75T
 - ・ BL100T 用：BLB100T
- 指定以外の交換用バッテリーパックを使用した場合、火災などの原因となることがあります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーパックから液漏れがあるときは液体（電解液）に触れないこと。

- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体（電解液）が、目、皮膚や衣服に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の判断（診療）を受けてください。



バッテリー接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

コネクタの端子間をショートしないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



**バッテリーパックを取り外すときにケーブルやコネクタを引っ張らないこと。
側面に貼ってあるラベルを持ち引き出すこと。**

- ケーブルの損傷により、感電や火災などの原因になることがあります。



バッテリーは感電あるいは短絡する恐れがありますので、バッテリー交換の際は、以下の注意事項を遵守してください。

- 時計、指輪などの貴金属類は着用しないでください。
- グリップ部分が絶縁されたドライバを使用してください。
- 絶縁性の手袋と靴を着用してください。
- バッテリーの上には工具や金属類を置かないでください。
- バッテリーを接地しないでください。



バッテリーを火の中に投棄しないこと。

- リチウムイオンバッテリーを内蔵していますので、バッテリーが破裂したり、液体（電解液）が漏れたり、火災などの原因となることがあります。



次のような場所で保管や使用をしないこと。

- 周囲温度が、 -15°C よりも低い／周囲温度が 50°C よりも高い場所で保管しないこと。
(結露なきこと)
- 湿度が、10%よりも低い／湿度が 90%よりも高い場所に保管しないこと。
- 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所、直射日光が当たる場所、極端に埃の多い場所、振動や衝撃が加わる場所、塩分や水滴がある場所、および屋外など。
- 火災などの原因になることがあります。



バッテリーパック交換の際、バッテリー収納口に手を入れないこと。



バッテリー交換作業はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、またはその人の監督の下で行ってください。



付属品の確認

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

● 取扱説明書（本書）	1 冊
● バッテリーパック固定用ネジ（予備）	1 本
● バッテリー交換日ラベル	1 枚
● UPS リプレイスサービス案内	1 枚
● 個人情報の利用目的について	1 枚

バッテリーの交換

UPS が運転停止（電源出力停止）状態でも、運転中（電源出力中）状態のどちらでもバッテリーの交換ができます。

お願い

- 運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
- バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。出力が停止します。

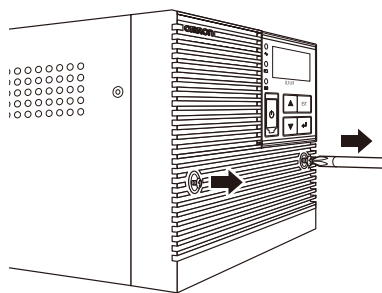
参考

「赤色 LED」が点灯表示し、ブザーが鳴動している場合は、「ESC」スイッチを 3 秒以上押すとブザーが停止します。（「赤色 LED」の点灯は消えません）

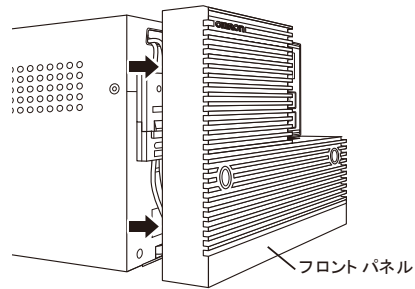
バッテリーの交換

バッテリー交換の前後に、BMS 設定の変更が必要です。

1. 「Enter」スイッチ (↵) を押して、LCD メニューを開いてください。
2. 「下」スイッチ (▼) を押して [3.セッテイ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
3. [ローカル セッテイ] を選択して、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
4. 「下」スイッチ (▼) を押して [メニュータイプ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
5. 「下」スイッチ (▼) を押して [アドバンス] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
[アドバンス] の右側に✓が表示されたことを確認してください (メニュータイプが [アドバンス] に設定されます)。
6. 「ESC」スイッチを 2 回押して、[3.セッテイ] まで画面を戻してください。
7. 「下」スイッチ (▼) を押して [バッテリー セッテイ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
8. 「下」スイッチ (▼) を押して [BMS セッテイ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
9. 「下」スイッチ (▼) を押して [ムコウ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
「黄色 LED」が点滅します。
10. フロントパネルのネジを + ドライバでゆるめます。(2 か所)



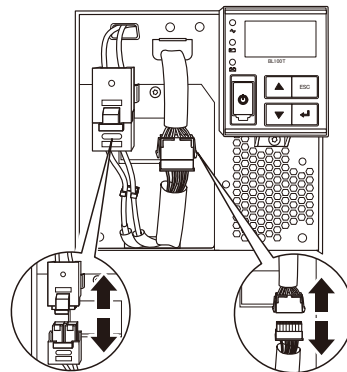
- 11.** フロントパネルを手前に引いて取り外します。(ネジはフロントパネルに残ります)



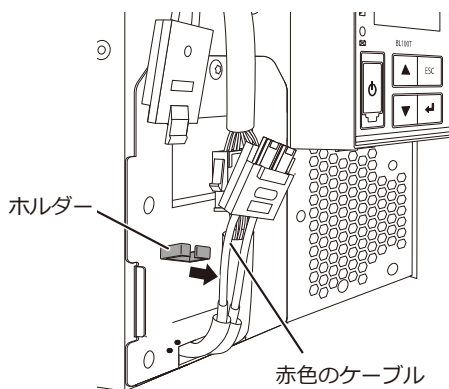
- 12.** バッテリーケーブルのコネクタのロックを押しながら、コネクタを取り外します。(2個)

※ バッテリーケーブルのコネクタを外すと「赤色 LED」が点灯し、ブザーが鳴ります。またステータス画面に戻ると「Fault-E11」が表示されますが、バッテリー交換時には異常ではありません。

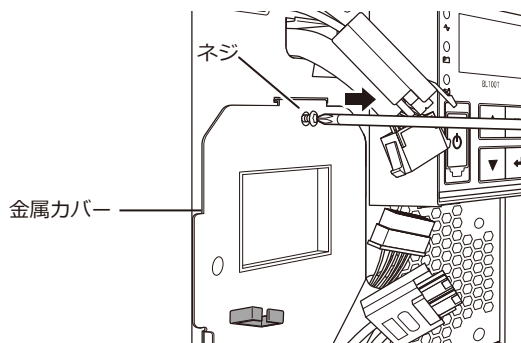
バッテリー交換後にバッテリーケーブルのコネクタを UPS 側コネクタと接続することで、約 20 秒後にブザーが停止し「Fault-E11」は解除されます。



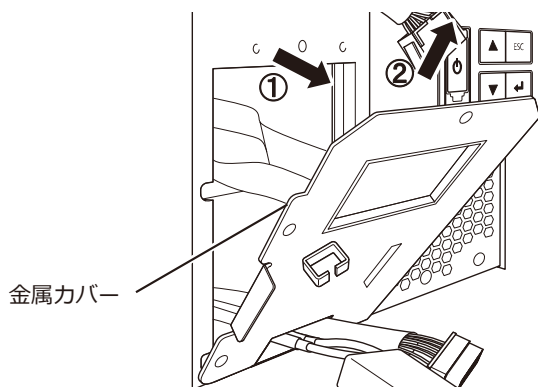
- 13.** 赤色のケーブルをホルダーから取り外します。



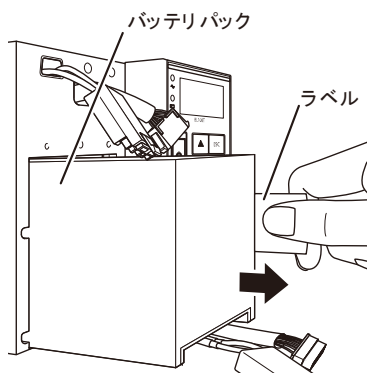
- 14.** 金属カバーのネジ 1 個を取り外します。



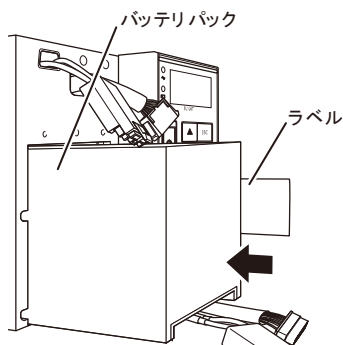
- 15.** 金属カバーを手前に引いて ①、上に持ち上げて取り外します ②。



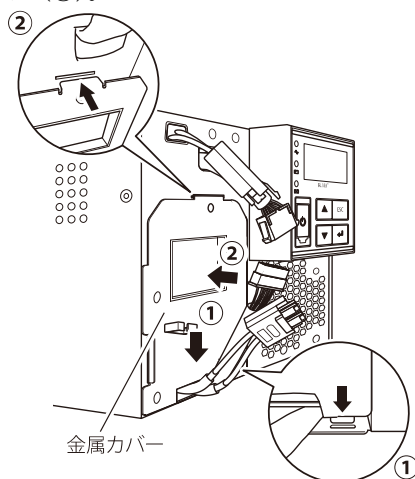
- 16.** ラベルを持ってバッテリーパックを引き出します。
- ※ 引き出すときはコネクタやケーブルを引っ張らないでください。
 - ※ バッテリーパックは重量物ですので、落下しないようご注意ください。



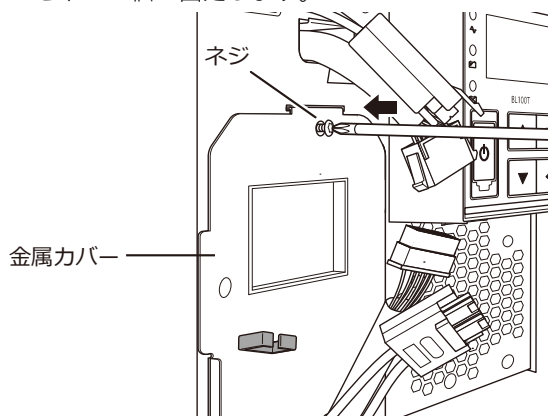
- 17.** 新しいバッテリーパックを奥まで挿入し、収納します。
- ※ バッテリーパックは必ず下図の向きで挿入してください。
 - ・交換用バッテリーパック型式名：BLB50T/BLB75T/BLB100T



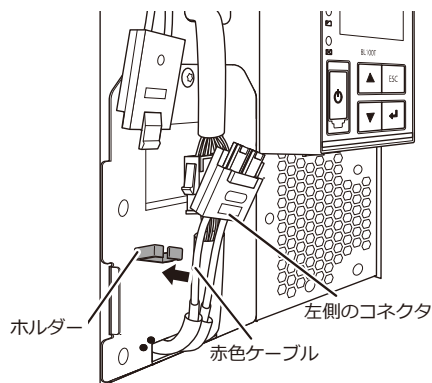
- 18.** 金属カバー下側の突起（2か所）をUPSの溝にはめて（①）、上側の突起をUPSの溝に合わせます（②）。



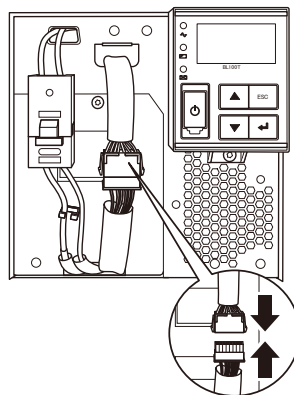
- 19.** 金属カバーをネジ1個で固定します。



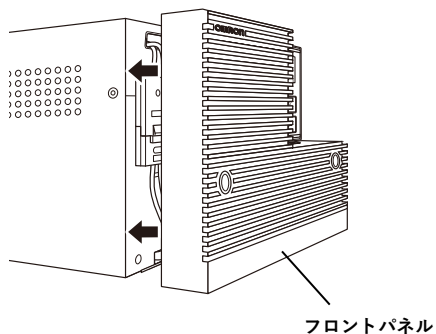
- 20.** 左側のコネクタを接続します。その後、赤色のケーブルをホルダーにセットします。



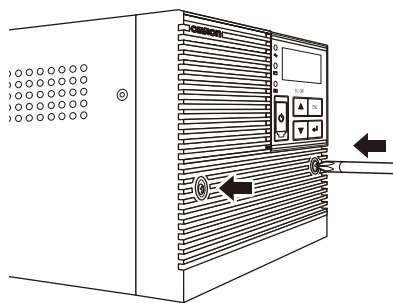
- 21.** 右側のケーブルのコネクタを接続します。
※ コネクタ接続後、約 20 秒後にブザーは鳴り止みます。



- 22.** フロントパネルを UPS にセットします。



- 23.** フロントパネルをネジ 2 個で固定します。



- 24.** 「BMS セッテイ」で [ユウコウ] を選択し、「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
「ESC」スイッチを 4 回押してください。ステータス画面に戻ります。
※ Press [ESC] key と表示された際は、「ESC」スイッチを押してください。

お願い

- バッテリー交換後は、自己診断テストおよびバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。

この操作は、電源 ON 時に可能です。

1. 「Enter」スイッチ (↵) を押して、LCD メニューを開いてください。
2. 「下」スイッチ (▼) を押して [2.コントロール] を選択して「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
3. [ジコシندانテスト カイシ] を選択して「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
4. 自己診断テストが開始されます。
5. 自己診断テストが終了したことを確認し、「下」スイッチ (▼) を押して [バッテリージュミョウカウンタ リセット] を選択して「Enter」スイッチ (↵) を押してください。
6. [ハイ] を選択して「Enter」スイッチ (↵) を押してバッテリー寿命カウンタをリセットしてください。

バッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

付属のバッテリー交換日ラベルに、バッテリー交換日を記入して、UPS に貼り付けてください。もしくは、LCD メニューの「Enter」スイッチ (↵) を押して [3.セッテイ] - [バッテリーセッテイ] - [バッテリー コウカンビ] 画面でも、バッテリー交換日を入力いただけます。

バッテリー交換時期のお知らせ

バッテリー寿命カウンタを元に、バッテリー交換時期が状態表示とブザー音で通知されます。バッテリー寿命カウンタは、製品出荷後、商用電源が供給されると働きます。周囲温度が 25°C を超えると、バッテリー寿命カウンタは早く進みます。

お願い

UPS に使用されているバッテリーには寿命があります。バッテリーの寿命は、保管・使用環境やバックアップの頻度により変わります。

- 寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますので、ご注意ください。
- バッテリーは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなりますので、ご注意ください。

■ バッテリー点検の目安、頻度

周囲温度	6 か月ごとの点検	1 か月ごとの点検
40°C	購入時から 3.5 年まで	使用開始から 3.5 年以降
30°C	購入時から 5 年まで	使用開始から 5 年以降
25°C	購入時から 6 年まで	使用開始から 6 年以降

本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社